

JA広島果実連の

果樹振興と担い手育成

令和 7 年 2 月 14 日

広島県果樹農業振興対策センター

広島県産果実の生産量

落葉果樹の生産量

			(単位:t)		
品目	品種	数量	品目	品種	数量
ぶどう	ピオーネ	874	なし	幸水	566
	ニューベリーA	343		豊水	468
	デラウェア	54		その他	202
	シャインマスカット	369	なし計		1,221
	その他	146			
ぶどう計		1,786			
いちじく		435			
柿		204			

※落葉果樹数量: 広果連中期計画 R3年実績

かんきつの生産量

			(単位:t)		
品種	数量	全国順位	品種	数量	全国順位
温室みかん			八朔	4,379	2
極早生温州	1,199		レモン	4,405	1
早生温州	5,974		しらぬひ	2,558	5
いしじ	3,431		ネーブル	1,742	1
普通温州	2,542		甘夏	967	7
露地みかん計	13,146		はるみ	1,382	1
みかん計	13,146	8	清見	397	4
			はるか	714	1
			ポンカン	320	9
			伊予柑	79	7
			せとか	206	4
			その他柑橘	893	
			中晩柑計	18,042	

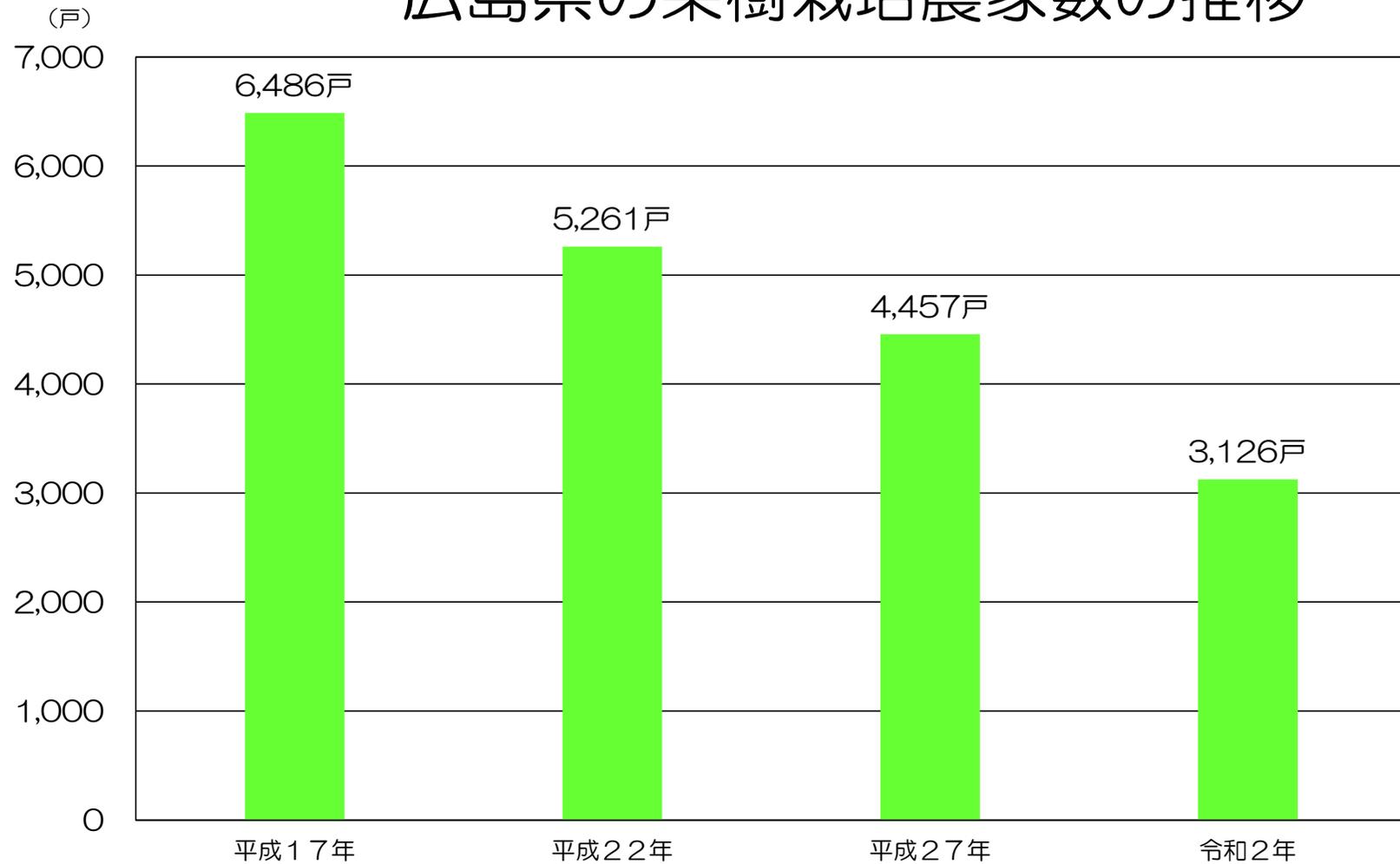
※みかん数量: R3年産実績見込み (JA広島果実連)

※中晩柑数量: R3年産実績見込み (JA広島果実連)

※みかん全国順位: R3年産果樹生産出荷統計 (農林水産省)

※中晩柑類全国順位: R元年産中晩生柑橘類生産予想量調査 (日園連)

広島県の果樹栽培農家数の推移



参考：農林業センサス

広島県の果樹栽培農家数は10年間で41%減少している。

県域の果樹産地を対象とした実践研修の必要性

〈これまでの状況〉

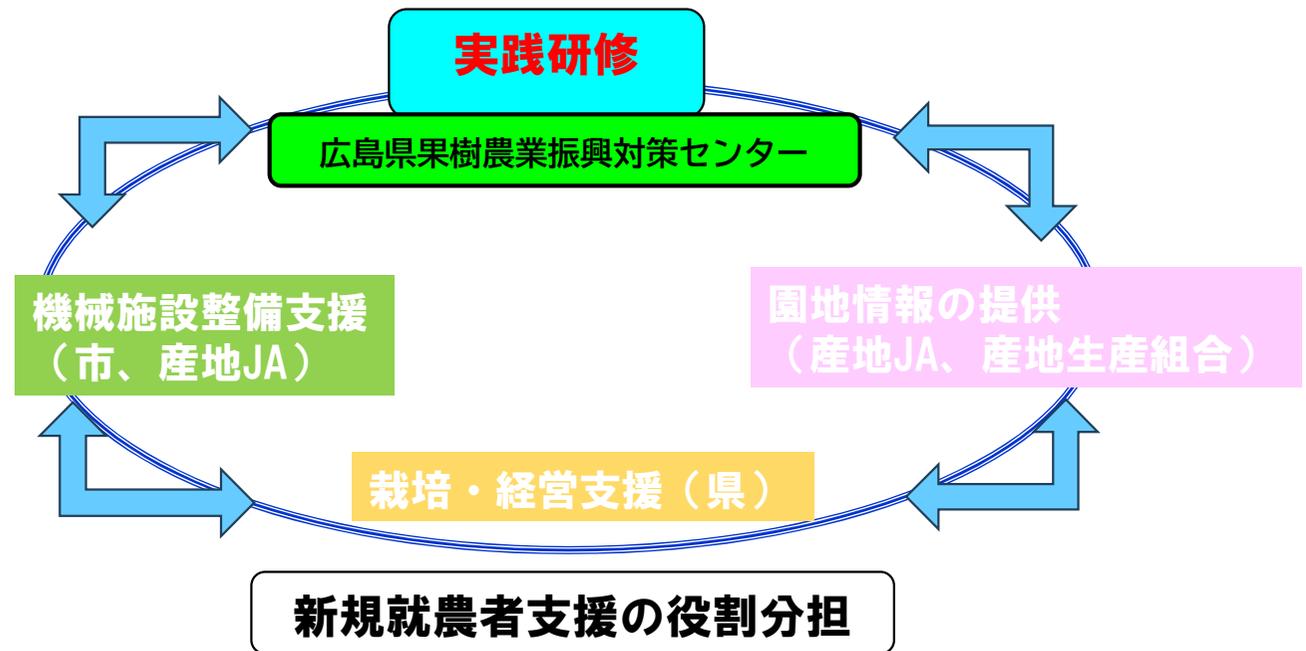
○各市町やJA個別の就農支援では成果が出にくい。

○就農希望者への技術研修から経営支援を継続的に実施するには、実施者の負担が大きく関係機関の役割分担と連携が求められた。

《関係機関が連携し技術修得から就農まで一貫した支援体制をつくる》

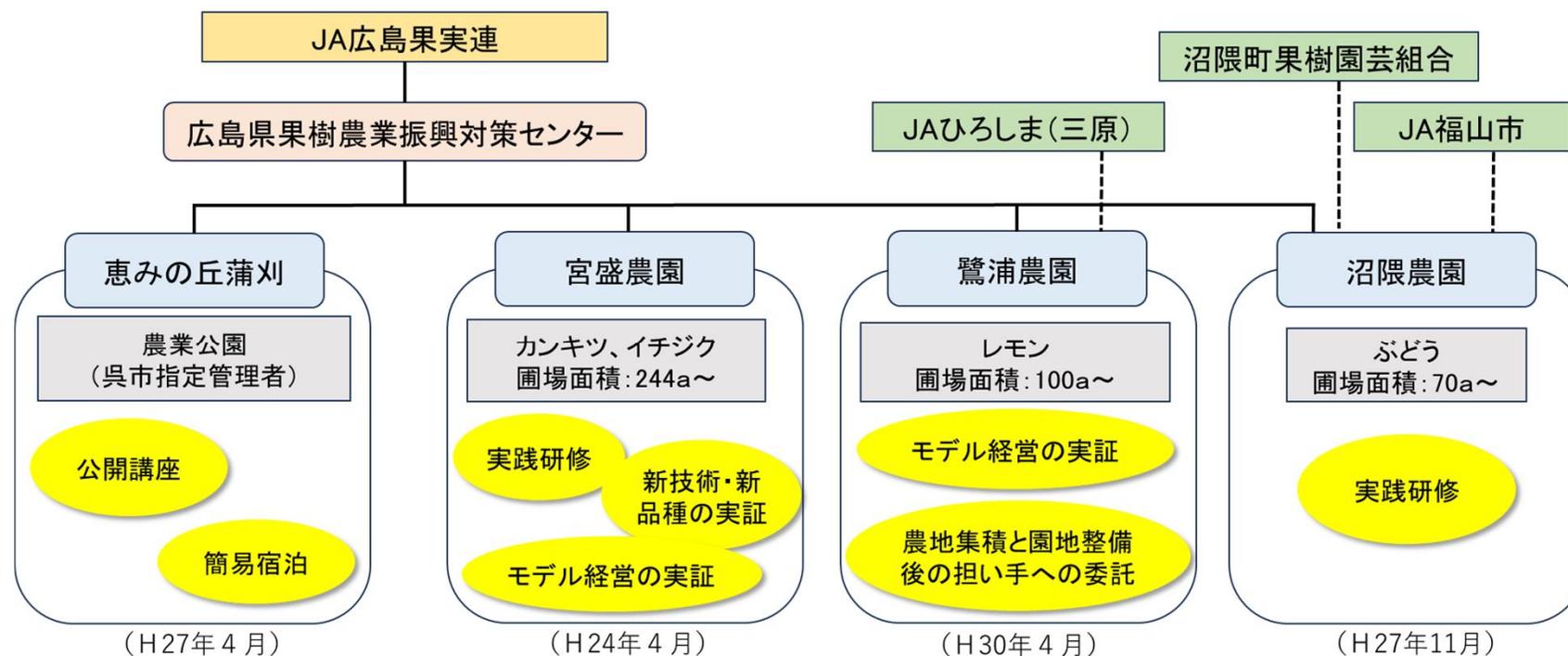
〈県域での役割分担を明確にした取組〉

- ①新規就農希望者の情報把握と共有
(市、町、県、産地JA、JA広島果実連)
- ②就農希望者への実践研修
(JA広島果実連)
- ③就農希望者への園地情報の提供
(産地JA、産地生産組合)
- ④就農時の機械施設整備の支援
(産地JA、市・町)
- ⑤就農後の栽培・経営指導
(県、産地JA)



広島県果樹農業振興対策センター

- 1 運営主体 JA広島果実連株式会社
- 2 設置場所 東広島市河内町入野11631番13号
- 3 設立目的 産地・産地JA・行政機関と一体となって果樹農業の担い手育成に取り組む。
- 4 設立日 平成24年4月16日



研修受講者と就農実績

《ぶどう部門》

	H27	H28	H29	H30	R1
受入者数	4	2	3	1	1
就農者数			4	1	1
	R2	R3	R4	R5	計
受入者数	3	1	1		16
就農者数	3	2	2	1	14

《かんきつ部門》

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
受入者数	3	1	1	2		2	
就農者数		3		1	2	1	1
	R1	R2	R3	R4	R5		計
受入者数	1		2				12
就農者数	1		1	1	1		12

ぶどうの実践研修（沼隈農園）

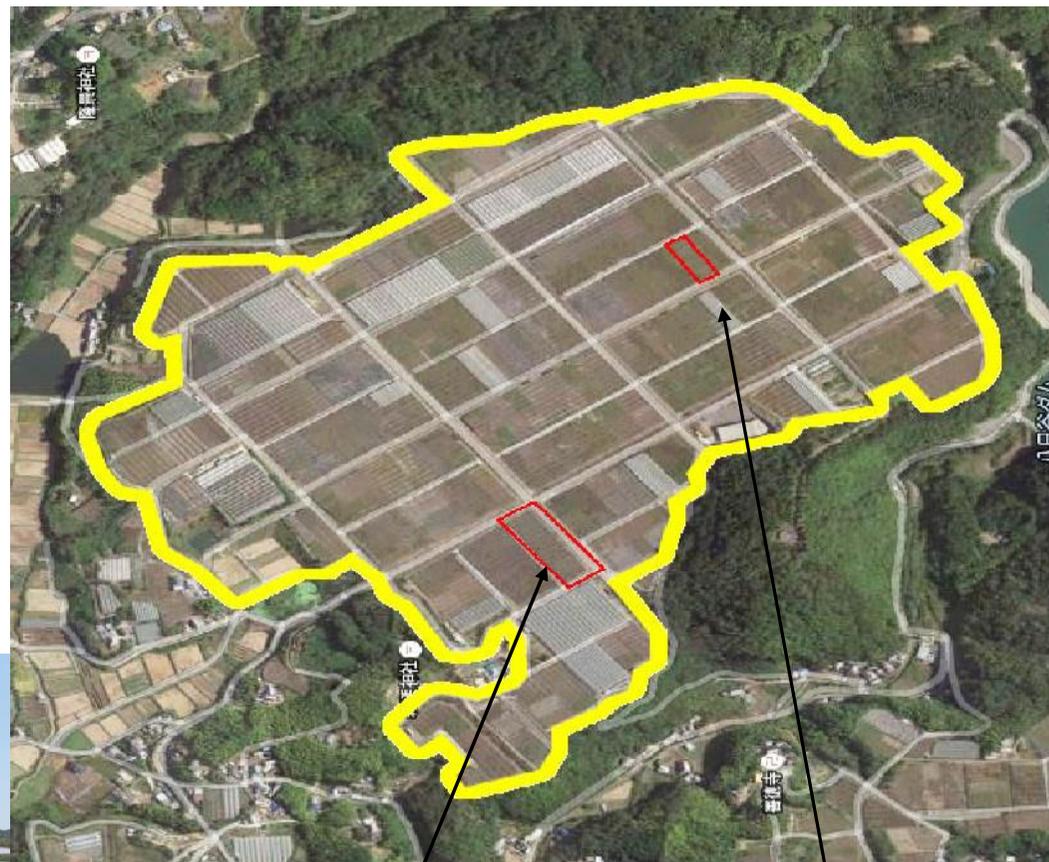
（平成27年開設）



ピオーネ房づくり実践研修



沼隈ぶどう団地



第1圃場

第2圃場

ぶどう部門の新規就農時

(沼隈町果樹園芸組合)

20aの成園

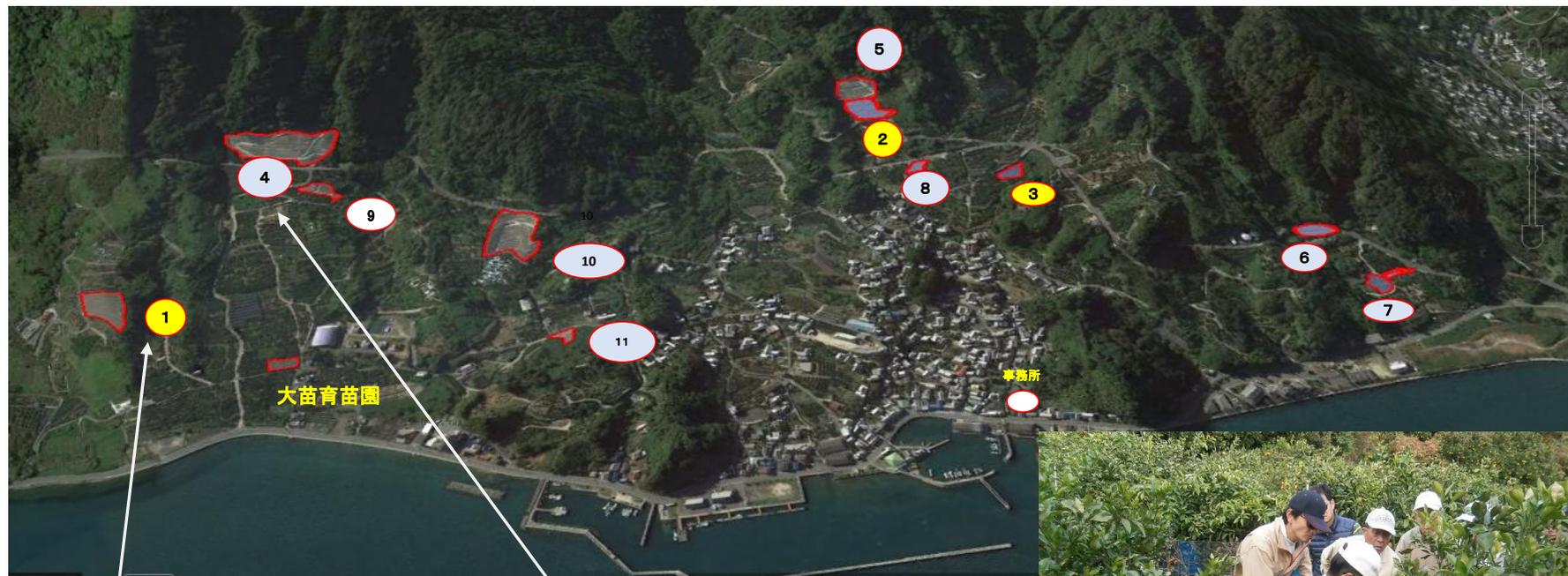
提供



就農と同時に収入の想定ができる

☆ 就農初期の不安が解消

かんきつ部門の実践研修（宮盛農園）



レモン園(平成24年植付)



主幹形いしじ園(平成25年植付)



収穫指導